

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

蜂窩織炎の治療を受ける患者さまへ

患者氏名	○	様	病名：	蜂窩織炎	症状	発赤・腫脹	主治医：	○	印	受け持ち看護師：
月日	1月0日		1月1日		～ 1月5日		1月6日		～ 1月7日	
項目	入院日		2日目～6日目		7～8日目		退院日			
達成目標	疾患および治療の必要性が理解できる		患部の安静・挙上・クーリングの必要性を理解し行動できる				退院後の注意点を理解できる			
治療・薬剤 (内服)	・薬剤師が持参薬を確認します - 確認後、許可が出たお薬は、いつも通りに内服して下さい ・抗生剤の点滴をします ・薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します		・6時・14時・22時に抗生剤の点滴をします 				<<退院後の生活について>> 次回外来までは、できるだけ患部を心臓より高くする時間を作り、アイスノンなどで冷やしてください。また、就寝時は、枕やクッションなどで患部を高くしてアイスノンなどで冷やして休むようにしてください。 入浴：基本的には制限ありませんが、医師からの指示がある場合や、潰瘍が残っている場合はシャワー浴のみとしてください 食事：特に制限はありません 運動：医師からの指示がない場合は、特に制限はありません 活動：車の運転、自転車、バイクなどは控え、次回外来時に医師に確認をしてください 《以下の症状がある場合は外来へ相談してください》 ・強い痛みが続く、腫れ・赤みが退院時より悪化したとき、膿が出てきたとき ・38℃以上の発熱が続くとき 退院は、午前10時頃です IDバンドは退院時に看護師が外します 退院後のご相談・お問い合わせは、外来看護師が承ります			
活動・安静度	・患部は、枕などを使用し、心臓よりも高くなるようにしてください ・患部は、アイスノンで冷やしてください（アイスノンに巻くタオルは各自で準備してください。寝衣のレンタルの申し込みをしている方は、準備は不要です） ・トイレや洗面・シャワー以外は、ベッドの上で安静にして過ごしてください		・患部は、枕などを使用し、心臓よりも高くなるようにしてください ・患部は、アイスノンで冷やしてください ・制限はありませんが、むくみなどの様子を見ながら少しずつ活動範囲を広げてください		 					
食事	・制限はありません ・特別な栄養管理の必要性 有・無 - 栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します		制限はありません							
排泄	制限はありません									
患者様およびご家族への説明	・入院・治療について説明します ・皮膚を傷つけないように爪が長い方は切ってください ・患者確認のためにIDバンドを装着します		・看護師が適宜お伺いします - 何かありましたら遠慮なく申し出てください							

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します

2026.1.5 100002

年 月 日 患者氏名

(代理人の場合) 代理人名

(続柄)